

(様式1)

教育研究業績書

2023年5月1日

氏名 坂田 徳生

研究分野	学位	
小児看護学	医療福祉修士 国際医療福祉大学大学院	
プレパレーション、処置後の遊び		
教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1. 教育方法の実践		
1) 演習・実習の効果的な活用	2017年9月～2018年2月	松蔭大学で演習ノートを活用した授業を行った。プレパレーションの演習で、キワニスドールを用いた演習を行い、体験できるよう工夫した。実習では患者のイメージが捉えられるよう、患者およびベッド周辺のスケッチをするよう実習記録の様式を工夫して作成し指導した。
	2022年5月～2022年6月	群馬医療福祉大学の実習において、新型コロナウイルスの影響による学内実習で、幼稚園実習に関し、発達段階別に生活行動レベルの基本を学習できるように記録用紙を工夫し、学修につなげた。また、看護過程の展開では作成した気管支喘息の事例で指導した。
2) マルチメディア機器等の利用	2022年4月～2023年3月	群馬医療福祉大学では、新型コロナウイルス蔓延防止対策期間中の授業において、ZOOM、youtubeを利用した遠隔授業を行った。
2. 作成した教科書、教材		
1) 演習ノート	2017年9月～2018年2月	松蔭大学での小児看護学発達援助論の授業において、実習で活用できるよう、日常生活援助、プレパレーション、与薬、輸液管理、など学生が記入する様式の演習ノートを作成した。
2) 事例・学内実習用実習記録用紙の作成	2022年4月～2023年3月	群馬医療福祉大学で、新型コロナウイルス蔓延防止期間において学内実習のため、気管支喘息の事例を作成した。また、幼稚園の実習記録を作成した。
3. 教育上の能力に関する大学等の評価	2022年4月～2023年3月	群馬医療福祉大学FD・SD委員会による前期での授業評価アンケートでは、すべての項目で3.5以上であり、概ね良い評価であった。
4. 実務の経験を有する者についての特記事項		特記事項なし
5. その他		
職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1. 資格、免許等 看護師免許	1999年3月	
2. 所属学会 日本看護協会・神奈川県看護協会再入会（現在に至る） 日本小児看護学会入会（現在に至る） 日本小児保健協会（現在に至る）	2013年4月 2013年8月 2016年8月	
3. 実務の経験を有する者についての特記事項		特記事項なし
4. その他		

(様式2)

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 該当なし				
(学術論文)				
1. カンボジアにおける小児期WHO推奨ワクチンに関する意識調査(修士論文)	単著	2013年3月	国際医療福祉大学大学院	途上国での小児用ワクチンの普及と接種率向上を究極の目的とし、カンボジアで小児医療に関わる5歳未満の子どもを持つ職員と一般の保護者へ小児期WHO推奨ワクチンの認知度や必要性について意識調査を行った。その結果から、途上国への国際医療協力におけるワクチンの普及および接種率を向上させる方法を検討した。 修士論文を査読付きの学会誌に投稿した
2. カンボジアにおける小児期WHO推奨ワクチンに関する意識調査：5歳未満の子どもを持つ親を対象とした現地調査(査読付き)	単著	2015年7月	日本小児看護学会誌	
3. 松蔭大学看護学部の初年次教育の実践報告-1期生への取り組み- (査読付き)	共著	2016年3月	松蔭大学看護学部紀要	松蔭大学看護学部に2015年度入学した学生73名を対象に行った初年次教育のコンセプトと実践内容を提示し、入学前教育とスタディスキル教育の結果を報告した。
4. 新設看護学部における課程外での初年次教育の成果：学生への調査から(査読付き)	共著	2016年12月	日本看護学会論文集、看護教育	新設看護学部で、課程外教育で行われたスタディスキル教育の成果において、学生が学んでいると教員が感じた内容について、学生も学んだと感じていたこと、学生は医学・看護以外の教員から、看護に役立つことを学べていたことを明らかにした。
5. 小児看護学実習における看護の学びの実態-本学第一期学生の実習後のレポート分析から- (査読付き)	共著	2019年3月	松蔭大学看護学部紀要	松蔭大学看護学部第1期生の小児看護学関連科目の履修を終えた現在、学生から提出されたレポートから、小児看護学教育の目的・目標は達成されているかを検討することで、小児看護学教育におけるモデルコア・カリキュラム構築の一助とした。
(学会発表、講演など)				
1. 医療処置を受ける幼児の対処行動を高める感性的言語の研究(学会発表)	共同	2013年8月	第8回 ICN INP	医療現場における幼児への説明を容易にするため、幼児が理解できる感性的言語の説明モデルの開発を目的とし、どのような言葉で小児に関わっているか、小児医療に携わっている医師、看護師を対象に調査した。
2. 臨地実習における看護診断過程の指導に対する困難感(ポスター発表)	共同	2015年7月	第21回日本看護診断学会学術大会	実習施設臨地実習指導者、専任教員が協働した学習会「ゴードンの機能的健康パターンを使用した看護過程事例演習」を企画し、学習会終了後の調査から看護診断過程の指導における困難感について明らかにした。
(その他)				